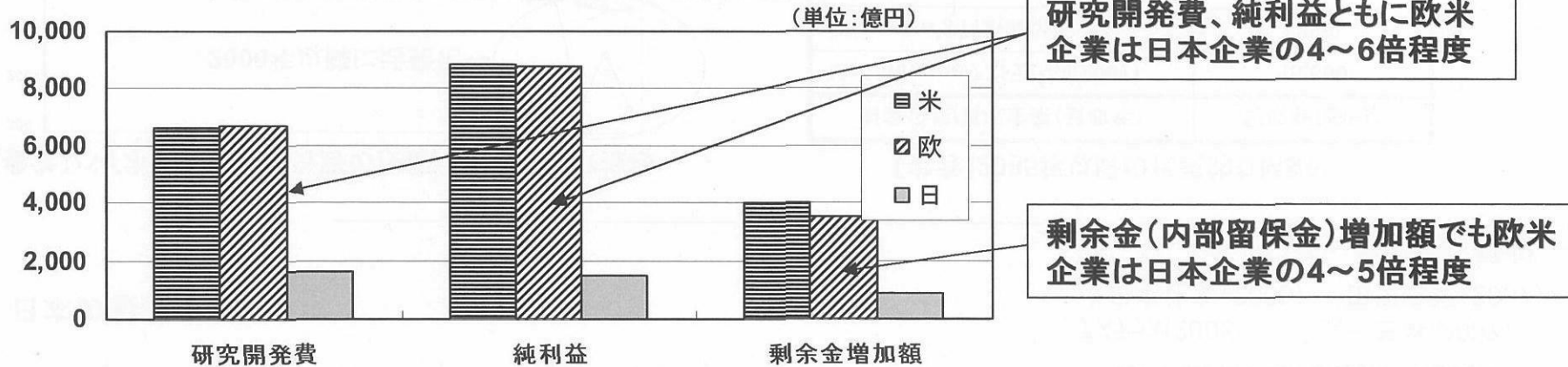


日本企業4社(武田薬品、アステラス製薬、第一三共、エーザイ)の状況

日本企業は欧米カファーマと比べ、研究開発費や純利益(買収等の原資)の規模に大きな差がある中、欧米カファーマに追いつくべく、積極的な投資によるパイプラインの充実を図っている。

欧米カファーマと日本企業(売上上位4社)の1社
当たり研究開発費・純利益及び剰余金増加額

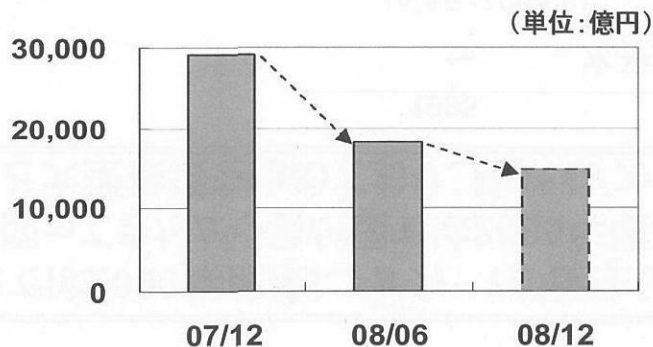


【注】米・欧・日の売上上位4社における05~07年の1社平均

米国企業:ファイザー、J&J、ルク、ワイス 欧州企業:GSK、サファイアベンティス、ロシュ、ノバルティス 日本企業:武田薬品、アステラス製薬、第一三共、エーザイ

日本企業4社の手元流動性(投資に用いる手元資金)推移と最近の主な買収

〈手元流動性推移(4社計)〉



〈最近の主な買収事例〉

企業名	買収対象会社	買収額(億円)	買収完了時期
武田薬品	米アムジェン日本法人	未公表	08年2月
	米ミレニアム	8,800	08年5月
アステラス製薬	米アジェンシス	430	07年12月
第一三共	独ユースリー	270	08年6月
	印ランバクシー	(最大4,950)	(08年度中)
エーザイ	米モルフォテック	380	07年4月
	米MGI	4,100	08年1月

出所:各社公表資料、日本経済新聞(8月28日朝刊)

出所:各社公表資料(買収完了時の為替レートで換算した概算額)